



## 建築設備技術遺産認定!

碍子支持金具「アングラック」



配管用支持金具「パイラック」



### 「建築設備技術遺産」とは

建築設備における空調、衛生、電気、搬送の4領域に関する技術と技術者の歴史的な足跡を示す事物・資料であり、建築設備技術の進歩、発展において重要な成果を示した建築設備技術をいいます。それらを建物に収めてきた技術を次世代に伝えるとともに、建築設備の「技術」、「役割」、「文化」を多くの方々に広めていく目的があります。

### 「アングラック」「パイラック」の誕生

昭和27年、得意先だった製紙会社の木造工場が全焼しました。鉄骨造での工場再建にあたり「燃えない電気工事はできないものか?」と考えて作り、それを使って工事したところ、「ユニークな工事だ」と多くの方に勧められて売り出したのが『アングラック』です。次いで、『パイラック』が生まれました。



発案者 菅谷政夫 (創業者)

今後もネグロス電工は、創業の精神“利他主義”を念頭に、一意専心務めて参ります。